

水いぼ どうしていますか？！

★1歳から6歳くらいの子どもによくできる「いぼ」です。
正式には「伝染性軟属腫」といい、ポックスウイルス群に属する・
ウイルスの皮膚感染によっておこります。

★症状：1～5ミリ大の丸くてツヤのあるブツブツで真中が少しくぼんでいます。少し赤みのあるものもあります。これをつぶすと白い粒のようなものが出てきてこれがウイルスのかたまりです。こすれたり、やぶれたりするとウイルスが飛び散って他のところへうつったり、人にうつしたりします。脇の下や腕の内側など皮膚のやわらかいところに多く、ときにかゆみをうったえることがあります。



アトピー性皮膚炎の子どもは、皮膚のバリアー機能が低下しているためうつりやすいので特に注意して下さい。

★治療：

- ①ぬり薬：色々試すことはありますが確実に治す塗り薬はありません。
- ②つまんでとる：ピンセットでつまんでとり、消毒しておきます。全部とつてもまた出来ることがあります。
- ③硝酸銀：硝酸銀という薬を塗って取ってしまう方法もあります。
- ④治るまで待つ：特別な治療をしなくても1～2年で自然と治ることも多いので、泣かせてまで取り除かなくても良いでしょう。

★生活のポイント：

- ①プール、水遊びなど肌が触れ合うところでは感染しやすいので注意して下さい。タオルやビート板、うきわの共有は避けましょう。
- ②かくことで他の部位へ広がったり感染をするので、できるだけかかないように注意をしましょう。
- ③放っておいて数が増えたり、大きくなったりしてもいずれは必ず治ります。何もしなくても6ヶ月以内に約50%、12ヶ月以内に90%以上が自然治癒したとの報告もあります。